

神権指導者・  
補助組織指導者

ガイドブック

# 神権指導者・ 補助組織指導者

ガ イ ド ブ ッ ク

発行：  
ユタ州ソルトレーク・シティー，  
末日聖徒イエス・キリスト教会

---

# 目次

はじめに	1
神 権	4
補助組織	11
教科課程と教師改善	15
指導者	17
教会の資料と家族歴史に関する情報の入手	22

---

## 配布先

『神権指導者・補助組織指導者ガイドブック』は、教会員として新しく、教会での経験が少ない神権指導者や補助組織指導者を対象にしています。また、教会が発展途上にある地域の指導者のためにも使用できます。ガイドブックには、神権指導者や補助組織指導者が召しを果たすのに役立つ原則と行動様式が説明されています。

© 1993, 2001 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有

印刷：日本

英語版承認：2001年3月 翻訳承認：2007年2月

原題：Priesthood and Auxiliary Leaders' Guidebook  
Japanese

# はじめに

教会がこのガイドブックを作成した目的は、神権指導者と補助組織指導者が召しに関する責任とそれを果たす方法とを学べるようにするためです。教会のすべての指導者と会員は、教会の使命が達成されるように援助する責任があります。その使命とは、「キリストのもとに来」る（モロナイ10：32）ようにすべての人を招くことです。この使命を達成するために、指導者は会員が次の事柄を行えるように援助します。

- ◆ あらゆる国民、部族、国語の民、民族にイエス・キリストの福音を宣言する。御霊に促されるままに証を述べることにより、福音を分かち合う。
- ◆ 聖徒を完全な者とする。新しい改宗者が教会で友人をつくり、責任を受け、神の言葉で養われることによって、教会の中で成長できるように助ける。儀式を受け、福音の聖約を交わし、約束した戒めを守るために努力し、同胞に仕え、貧しい人や困っている人の世話をし、聖徒の共同体を築くために互いに親しく交わる。
- ◆ 死者を贖<sup>あがな</sup>う。家族の昇栄に備えるために自分にできる範囲で、亡くなった先祖を探し出し、神殿で身代わりの儀式を行う。

## 福音を分かち合う



主は教会員に、福音を分かち合うよう求めておられます。指導者は自らそれを実践し、同じことを行うように他の会員たちを励まし、霊的に鼓舞すべきです。福音を分かち合うには、次のような方法があります。

- ◆ 福音の原則に従って生活し、善い模範を示す。
- ◆ 福音について、また福音が人々の生活にもたらす祝福について、友人や家族に話す。
- ◆ 地方部宣教師や専任宣教師を助ける。
- ◆ 福音を人々に紹介するための活動やプログラムを計画する。

福音を宣べ伝えるもう一つの方法は、会員たちに伝道に出る備えをさせることです。指導者は、伝道の準備をする

ように青少年を助け、子供を伝道に備えるように両親を励まし、退職した夫婦に伝道を奨励することができます。さらに会員たちに、自分の伝道資金を蓄え、宣教師を経済的に支援するように助言できます。

支部会長の指示の下に、支部伝道主任（召されている場合）は支部における伝道活動を調整します。

## 聖徒を完全な者とする



聖徒を完全な者とするには、昇栄に備えて日々福音に従って生活するように各会員を励まし、助けることが含まれます。これには霊的な面と物質的な面の両方があります。

### 霊的な備え

指導者は、会員の霊的な強さを増し加える方法を知るために、靈感を求めて絶えず祈る必要があります。指導者は福音を教え、それに従って生活するように勧めることによって、会員の霊

的な備えを助けることができます。また、祈りや断食、<sup>せいさん</sup>聖餐、聖文や末日の預言者の教えを学ぶことを通して主に近づくように、会員を励まします。指導者は会員に奉仕の機会を与え、教会の集会で人々が霊的に高められるようにし、個々の会員に仕えることによって愛を示します。

聖徒を完全な者とする業では、個人と家族に焦点を当てます。教会は家族と家庭を強め、支援します。家庭は、福音を教えて指導を行う最も大切な場所です。指導者は、家庭で互いに愛し合い、仕え合うように家族一人一人を励まします。また、子供を教え、定期的に家庭の夕べを開く責任が両親にあることを強調します。

教会のすべての会員は、神殿の祝福を受けるために備えるべきです。これを行うための会員の責任については、『家族ガイドブック』（31180 300）に説明されています。指導者は神殿について教えることにより、神殿の祝福を受ける備えを助けることができます。また指導者は、会員が神殿推薦状を受け、常に有効な推薦状を所持し、適切な地域では、神殿のエンダウメントと結び固めの儀式を受けられるように、ふさわしく生活することを奨励する必要があります。ふさわしい人とは、バプテスマの聖約のように、主と聖約を交わし、それを守るために勤勉に努力している人のことです。

## 物質的な備え

指導者は、自立と予期せぬ事態への備えについて教えることにより、物質的な必要を満たす備えができるように会員を助けることができます。また、什分の一の律法と断食の律法を守るように教え、収入の範囲内で生活するように勧め、ホームティーチャーや訪問教師を割り当てて会員を見守り、助けることができます。

指導者は、支部の貧しい人や困っている人を探して助けを与え、支部の会員にも同じことを行うように教えます。

会員が物質的な必要を満たす方法については、『家族ガイドブック』を参照してください。

## 神殿の儀式と家族歴史



会員は自身の神殿儀式を受けることに加えて、自分の先祖を探求して身代わりの神殿儀式を執行することにより、死者を贖う業を助けることができます。まず、自分の直系 4 代の先祖に努力を集中します。指導者は、死者の贖いに関する教義を教え、神殿活動のために名前を提出するように励まし、自分の先祖や他の死者のために、可能であれば、神殿の儀式を行うように勧めます。そうすることによって、指導者は会員を助けることができます。

# 神 権

---



神権は神の力と権能です。神権を通して、神はその業と栄光、すなわち「人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと」（モーセ1：39）を達成されます。イエス・キリストは、教会のふさわしい男性会員が神権を持つことを許可されました。神権に聖任された会員には、福音を宣べ伝える、神権の儀式を執行する、召された場合に地上の神の王国で教え導くなど、主の業を行う権能が授けられます。

「教会には二つの神権、すなわち、メルキゼデク神権と……アロン神権がある。」（教義と聖約107：1）天の使いが預言者ジョセフ・スミスを通して、地上に神権の権能を回復しました。

## メルキゼデク神権

メルキゼデク神権は大神権です。その名は、アブラハムの時代に実在した偉大な大祭司にちなんで付けられました（教義と聖約107：2-5参照）。この神権を持つ兄弟は、教会を指導し、福音を宣べ伝える業を導く力と権能を有しています。また、召された場合に伝道部や地方部、支部、定員会を管理することができます。

メルキゼデク神権の職に聖任される人は、最初にメルキゼデク神権を授けられます。それから、その神権の一つの職に聖任されます。メルキゼデク神権の職には、長老、大祭司、祝福師、

七十人、使徒があります。伝道部または地方部の神権指導者は、メルキゼデク神権を持つ兄弟によって伝道部または地方部の長老定員会を組織します。各々の長老定員会は、一人の会長によって管理されます。会長は定員会の会員に彼らの義務について教え、定員会内に兄弟愛が広がるように努めます。支部においてメルキゼデク神権を持つ兄弟はすべて、長老定員会の会員です。

### 長老と長老定員会会長

長老は教え、説き明かし、バプテスマを施し、教会員を見守ります。また、アロン神権の職の権能と責任を持つことに加えて、聖霊の賜物を授け、病人を癒し、もろもろの儀式を執行することができます（『家族ガイドブック』の「神権の儀式と祝福」の項を参照）。長老は神権指導者から委任を受けた場合、権限を持つ大祭司が不在のときに教会の集会を管理することができます（教義と聖約20：42-45；107：11参照）。

支部にメルキゼデク神権を持つふさわしい男性がいる場合、伝道部会長または地方部会長は、御霊の導きに従って支部に長老定員会を組織し、定員会の会員の中から一人の定員会会長を召して任命することができます。支部において長老の数が増えてきたら、伝道部会長は二人の顧問を召して任命することができます。各々の長老定員会は96人までの長老で構成されます。定員会は父親や定員会の他の会員に対して模範を

示し、援助を与え、指導を行います。

長老定員会会長は、地方部会長または伝道部会長の指示の下に働き、自分の責任について地方部会長または伝道部会長に報告をします。また、支部会長の指示の下に、支部の神権役員会および評議会の一員としても働きます。定員会会長は支部の定員会会員を管理し、自ら模範を示します。さらに教会が支部のすべての会員と活発な接触を保てるように、支部会長と協力してホームティーチングを組織し、実行します。

定員会会長は定員会会員に、福音とメルキゼデク神権の義務について教えます（教義と聖約107：89参照）。また喜びと謙遜な心を持って、特に夫や父親としての責任において、奉仕するように勧めます。さらに神権の儀式を執行する方法を教え、会員にとって助けとなり定員会の兄弟愛をはぐくめるような奉仕プロジェクトや活動を計画します。定員会会長は、定員会会員の霊的および物質的な福利に対して責任があるのです。

長老定員会会長は、メルキゼデク神権者と（19歳以上の）成人アロン神権者に、ホームティーチャーとしての割り当てを与えます。また、支部会長の承認の下に、アロン神権の教師と祭司の職にある青少年に、ホームティーチャーとしての割り当てを与えます。ホームティーチャーは、個人面接で二人ずつの同僚として召されます。長老定



員会会長は、夫婦の助けが特に必要な訪問先には、支部会長の承認の下に、メルキゼデク神権者の伴侶に夫と同行する割り当てを与えることができます。

定員会会長は、ホームティーチングの目的を定員会会員に教え（6-7ページ参照）、それを達成するように彼らを霊的に鼓舞します。定員会会長会の一員は、訪問の報告を受け、会員の必要について知るために、ホームティーチャーと定期的に面接します。

長老定員会会長はホームティーチングを管理し、ホームティーチングの訪問について、また訪問を通して明らかになった会員の必要や問題について、支部会長に情報を伝えます。

定員会会長は定員会会員に、教会の集会和活動に参加し、奉仕を行うように励まします。また、神権の聖任をまだ受けていない人や18歳以上のアロン神権者を助けて、メルキゼデク神権と神殿の儀式を受ける備えをさせます。ホームティーチャーがこれらの働きを助けますが、会長はしばしば、定員会の会員を自ら教え導くことが必要になります。

### **大祭司、祝福師、七十人、使徒**

大祭司、祝福師、七十人、使徒の職については、『福音の原則』第14章を参照してください。

### **ホームティーチング**



ホームティーチャーは神権を持つ兄弟で、神権指導者が支部の会員を見守って強めるのを助けるために召されます。メルキゼデク神権者とアロン神権者は、執事を除き、ホームティーチャーとして仕えることができます。

ホームティーチャーは定期的に会員を訪問して、彼らに愛を示し、福音を教え、キリストのもとに来るように彼らを招きます。また父親に祈ることと、家族を正しく養うことを勧めます。会員が病気や家族の死、孤独、失業、その他で特別な助けが必要なとき、ホームティーチャーは援助の手を差し伸べます（教義と聖約20：51，53，59参照）。

ホームティーチャーは、主と、支部会長や定員会会長を代表して担当家族を訪問します。そして担当家族の関心事や必要を理解し、彼らに心からの関心を示します。御霊の導きに従って、ホームティーチャーは福音を教え、訪問先の家族や個人の信仰を養い強めるように努めます。可能なかぎり、ホー

ムティーチャーは一人の同僚を持つべきです。

ホームティーチャーは次のことを行います。

- ◆ 担当する各々の会員と活発に接触する。
- ◆ 父親（家庭に父親がいない場合は母親または独身会員）を家長として尊重し、不死不滅と永遠の命に向かう旅路において家族を導けるように助ける。
- ◆ 『リアホナ』の「大管長会メッセージ」にある生ける預言者の言葉や聖文からのメッセージを分かち合うことにより、イエス・キリストを信じる信仰を持てるように会員を助ける。
- ◆ 訪問先の家族と祈り、彼らを祝福する。
- ◆ 集会、定員会や支部の活動、特別な行事について知らせ、家族が参加できるように助ける。
- ◆ 家族の成長について長老定員会会長（支部に長老定員会がない場合は支部会長）に報告する。
- ◆ 家族が救いに必要な福音の儀式をすべて受け、それらに関連する聖約を守れるように助けと励ましを与える。
- ◆ 伝道、家族歴史、神殿の活動を行うように会員を励ます。

## 儀式と祝福

神権の儀式は、主によって明らかにされた神聖な行為であり、神権の権能によって執行されます。神権の祝福は、癒しや慰め、励ましを与えるために行われます。バプテスマや聖餐の祝福、パスは、神権の儀式の一例です。儀式の中にはアロン神権を持つ兄弟が執行できるものもありますが、ほとんどの儀式はメルキゼデク神権者によって執り行われます（本書と『家族ガイドブック』の「アロン神権」の項を参照）。支部会長と長老定員会会長は、儀式をどのように執行するか兄弟たちに教える責任があります。これらの指導者は、父親が家族のために儀式を行う備えをし、ふさわしさを保てるように助けます。儀式や祝福を行う兄弟は、福音の原則に従って生活することにより、また聖なる御霊に導かれるように努力することにより、自分自身を備えます。そして、威厳をもってそれぞれの儀式や祝福を行います。各々の儀式は次のように執行します。

1. イエス・キリストの御名によって。
2. 神権の権能によって。
3. 定められた言葉や聖別された油のように、必要な手順に従って。
4. 必要な場合、正しい神権の鍵を有する神権指導者から承認を得て。神権指導者の承認が必要な儀式には、子供の命名と祝福、バプテスマと確認、神

権の授与と神権の職への聖任，聖餐の祝福とパス，墓の奉献があります。

特定の儀式と祝福に関する指示については、『家族ガイドブック』を参照してください。

## アロン神権



アロン神権は「大神権，すなわちメルキゼデク神権に付属するもの」(教義と聖約107：14)です。その名は，モーセの兄アロンにちなんで付けられました。なぜなら，アロン神権はアロンとその子孫に授けられたからです。アロン神権を持つ兄弟は，特定の神権の儀式を執行する権能を有しています。祭司はバプテスマを施し，聖餐を祝福し，祭司，教師，執事を聖任することができます。祭司と教師は，聖餐の準備をすることができます。また祭司，教師，執事は，聖餐のパスを行うことができます(教義と聖約107：13-14，20参照)

アロン神権を授けられる人は，その神権の一つの職に聖任されます。アロン神権の職には，祭司，教師，執事が

あります。支部のアロン神権を管理する支部会長は，御霊の導きに従って，また必要な神権者の人数に応じて，同じ職を持つ兄弟で構成される執事定員会(12-13歳)，教師定員会(14-15歳)，祭司定員会(16-18歳)を組織します。

アロン神権の会長会の鍵を有する支部会長は，支部におけるアロン神権の会長です。支部会長は祭司定員会の会長であり，二人のふさわしい祭司を祭司定員会の会長補佐として働くように召すことができます。また，ふさわしい教師とふさわしい執事をそれぞれ教師定員会会長，執事定員会会長に召すことができます。支部会長または割り当てを受けた顧問は，教師および執事定員会の会長会を組織するために，それぞれ二人の顧問を召すことができます。定員会に十分な数の若い男性がいる場合，支部会長会の一員は，各定員会の一人の若い男性を定員会書記として召すことができます。支部会長は祭司定員会補佐，教師定員会会長，執事定員会会長を任命します。そして支部会長会の一員が定員会の顧問と書記を任命します。

神権会の開会行事の後，アロン神権者は支部会長の指示の下に，メルキゼデク神権者と分かれて集会を持ちます。

支部会長はアロン神権定員会を組織する場合，御霊の導きに従って，メルキゼデク神権者またはアロン神権の祭司の職にある兄弟を若い男性会長として

働くように召して、任命します。若い男性会長は、支部会長会やアロン神権定員会の会長と協力して、定員会の各会員がイエス・キリストを信じる信仰を強め、回復された福音の原則に対する理解を深め、それらに従って生活する決意ができるように助けを与えます。

アロン神権の目標は、この神権に聖任された一人一人の兄弟が以下のことを行えるように助けることです。

- ◆ イエス・キリストの福音に改心し、その教えに従って生活する。
- ◆ 神権の召しを忠実に果たし、各々の神権の職につける責任を遂行する。
- ◆ 有意義な奉仕を行う。
- ◆ メルクゼデク神権と神殿の儀式を受けるために備え、ふさわしく生活する。
- ◆ 誉れある専任宣教師として仕えるために備える。
- ◆ できるかぎり高い教育を受け、ふさわしい夫や父親になるために備える。
- ◆ 女性や少女、子供を尊重する。

支部会長はアロン神権定員会会長と協力して、上記の目標達成に役立つ定員会の集会や奉仕プロジェクト、活動を計画します。活動は、若い男性が同じ信条と標準を分かち合う人々と友達になり、奉仕を行い、技術をはぐくむことができる健全な環境を提供します。

アロン神権会長会と若い女性クラス

会長会は、アロン神権および若い女性の成人指導者と協力して、支部会長の管理の下に、アロン神権者と若い女性の合同活動を計画することができます。この合同活動は「ミューチャル」と呼ばれます。

## 執 事

バプテスマと確認の儀式を受けたふさわしい若い男性は、12歳以上であれば、執事に聖任することができます。執事は通常、聖餐のパス、教会の建物や庭の手入れ、助けを必要とする人の世話などの割り当てを受けます。また、断食献金を集めるというような特別な割り当ても果たします。

執事定員会は12人までの執事で構成されます（教義と聖約107：85参照）。

## 教 師

ふさわしい若い男性は、14歳以上であれば、教師に聖任することができます。教師は執事のすべての権能と責任に加えて、聖餐の準備を行い、ホームティーチャーとして奉仕します。

教師定員会は、24人までの教師で構成されます（教義と聖約107：86参照）。

## 祭 司

ふさわしい兄弟は、16歳以上であれば祭司に聖任することができます。成人男性の改宗者は通常、長老に聖任されるのに十分な経験を積むまで、祭司に聖任されます。

祭司は執事と教師のすべての権能と責任に加えて、バプテスマを施し、聖餐を執行し、メルキゼデク神権者が不在のときに集会を管理することができ

ます（教義と聖約20：46-51）。

祭司定員会は、48人までの祭司で構成されます（教義と聖約107：87-88参照）。

## 補助組織

---



支部では神権組織が最初に組織されます。会員数が増加して、指導者や集会の場所が可能になれば、支部会長が必要であると判断した場合、神権組織を助ける補助組織が設けられます。補助組織には、扶助協会、若い男性、若い女性、初等協会、日曜学校があります。

成人女性や若い女性、子供たちは、支部の中で別々の補助組織のグループに分かれるのに十分な数になるまで、扶助協会会長の指示の下に教えを受けるために一緒に集まります。

### 扶助協会

扶助協会は、成人（18歳以上）の姉妹が主イエス・キリストを信じる信仰を築けるように励ますことによって、神権指導者を補佐します。扶助協会は、女性とその家族がキリストのもとに来て、聖霊の導きを受けるにふさわしい生活をするように援助します。扶助協会の姉妹たちは、福音の教義を教え、学び、慈善奉仕を行い、家庭管理の技術を養い、家族のきずなを強め、仕え合い、助け合います。

支部に2人以上の女性会員がいる場合、支部会長は扶助協会を組織することができます。扶助協会会長は支部会

長の指示の下に、次のことを行います。

- ◆ 日曜日に成人男性と若い男性が神権会を開いている間、成人（18歳以上）の女性のためにクラスを指導し、司会する。
- ◆ 支部会長と協力して働き、成人女性や若い女性、子供たちの必要と活動について支部会長に助言する。
- ◆ 助けの必要な人を見つけて世話をすることができるように支部会長を助ける。

## 若い男性

本書の8-10ページ『アロン神権』の項を参照してください。

## 若い女性



支部会長会は、12歳から18歳の若い女性に対して、同年齢の若い男性に対するのと同じ責任を本質的に負っています。

若い女性の組織は（12歳から17歳の）少女を助けて、彼女たちがイエス・キリストの福音に心から帰依し、両親を敬い、神聖な神殿の聖約を交わして守

る備えをし、ふさわしい妻や母親になるために準備し、奉仕を行えるようになります。若い女性は日曜日の集会と平日の活動において福音の教えを受けます。

支部会長が支部に十分な数の若い女性がいると判断した場合、12歳から17歳の若い女性は扶助協会から分かれて集会を持つことができます。支部会長はビーハイブ（12-13歳）、マイアメイド（14-15歳）、ローレル（16-17歳）のクラスを組織することができます。そして、各クラスのふさわしい若い女性をクラス会長として召して任命することができます。支部会長会の一員は、各クラスの若い女性からさらに二人の顧問と一人の書記を召して任命することができます。

若い女性会長会（成人）は、支部会長の指示の下に、支部会長会およびクラス会長会（少女）と協力して、各々の若い女性がイエス・キリストを信じる信仰を強め、回復された福音の原則に対する理解を深め、それらに従って生活する決意ができるようにします。日曜日の福音のレッスンや平日の健全な活動は、これらの目的の達成を助けるものです。

若い女性クラス会長会とアロン神権会長会は、若い女性およびアロン神権の成人指導者と協力して、支部会長の管理の下に若い女性とアロン神権者の合同活動を計画することができます。この合同活動は「ミューチャル」と呼ばれます。

## 初等協会



初等協会は、(3歳から11歳の) 子供たちにイエス・キリストの福音を教え、それに従って生活できるように助けを与えます。初等協会では、子供たちが歓迎されていると感じ、救い主の愛を感じ、そして福音のもたらす喜びを感じます。

初等協会のテーマは「あなたの子孫は皆、主によって教えを受け、あなたの子孫の平安は深い」(3ネーファイ 22:13) です。初等協会は、聖文を勉強し、祈り、救い主の模範に従うように子供たちを励ますことにより、教会の使命達成において神権指導者を補佐します。初等協会には、次のような目的があります。

- ◆ 自分が神の子供であり、天父とイエス・キリストから愛されていることを子供たちに教える。
- ◆ 天父とイエス・キリストを愛することを子供たちに教える。
- ◆ 子供たちがバプテスマと聖霊を受け

る備えをし、バプテスマの聖約と約束を守れるように助ける。

- ◆ 福音の計画を理解できるように子供たちを助け、福音の原則を实践する機会を提供する。
- ◆ 男の子が神権を受けるために備え、神権を行使して祝福や奉仕をもたらすのにふさわしくなれるように助ける。
- ◆ 女の子が義にかなった若い女性になるために備え、神権と神殿の祝福について理解し、人々に奉仕できるように助ける。

神権組織および初等協会の指導者と教師は、御霊を求めてその導きに従い、両親が子供にイエス・キリストの福音を教えるのを助けます。初等協会のすべての子供は、特に福音の生活に対する強い支えに欠ける家庭から来ている子供は、思いやりのある教師や指導者から愛されていると感じる必要があります。

子供の数が十分であれば、日曜学校、扶助協会、若い女性の時間に、子供たちは成人女性や若い女性から分かれて集会を持ち、クラスのレッスンと分かち合いの時間を行います。支部は日曜日以外の日に、初等協会の年齢の子供のために時々活動を計画することができます。分かち合いの時間と平日の活動に関する詳しい指示は、神権指導者から入手できます。



## 日曜学校

日曜学校は、日曜日の集会で人々を啓発し教化する機会を提供することにより、12歳以上の会員と求道者がイエス・キリストの福音を学び、福音の原則に従って生活できるように助けます。日曜学校の教師は、次のことを行うように会員を励まします。

- ◆ 聖文を研究する。
- ◆ 戒めに従う。

- ◆ 救いに必要な儀式を受け、それに伴う福音の聖約を守る。

日曜学校の会長会は、日曜学校を監督します。日曜学校会長は、教師になれる人を支部会長に推薦します。支部会長会は、日曜学校のクラスを教える教師を召して任命します。青少年と成人会員は、人数が少なければ一つのクラスで学びますが、十分な数であれば、別々のクラスに分かれてレッスンを受けることができます。



# 教科課程と教師改善



## 教科課程

教会は、神権定員会と補助組織の教科課程資料を提供します。地域会長会は、毎年使う資料について指示を与えます。この指示書は、教会の配送センターまたはサービスセンターから年間資料と一緒に送られます。神権指導者を通して配布される『教科課程に関する神権指導者と補助組織指導者への情報』(36363 300)には、教会の教科課程の概要が記されています。指導者と教師は、教会が承認した教材だけを使うようにして、教会外の商品の使用を避けるように勧められています。

『リアホナ』に掲載される「大管長会メッセージ」、「家庭訪問メッセージ」、

その他の記事は、教科課程のテキストにおけるレッスンを補充して豊かにする資料です。これらの資料は、教会の公式のインターネットサイト、[www.lds.org](http://www.lds.org) から電子ファイルの形でダウンロードし、印刷することができます。『リアホナ』が発行されている地域では、支部の各家族が定期購読をすべきです。

## 教師改善

両親や指導者、教師には、イエス・キリストの福音を教えるという神聖な責任があります。彼らの努力を通して、人々は福音の真理を毎日の生活の中でどのように適用するか学ぶことができます。主はこう言われました。「また、

あなたがたに一つの戒めを与える。あなたがたは互いに王国の教義を教え合わなければならない。熱心に教えなさい。そうすれば、わたしの恵みがあなたがたに伴うであろう。」(教義と聖約 88:77-78)

支部会長会は、支部におけるレッス

ンの質について責任があります。支部に十分な数の活発会員がいる場合、支部会長会は一人の兄弟または姉妹を支部教師改善コーディネーターとして召します。

レッスンと教師改善については、『教師ガイドブック』を参照してください。



# 指導者



## 救い主の模範

わたしたちの救い主イエス・キリストは、会員が家族や教会の指導者として従うべき完全な模範を示されました。主は御父を愛し、御自身が仕えた民を愛されました。主は人々に仕えるために生活し、虐げられた人々を助け励まし、落胆した人々に希望を与えられました。

イエスは御自身の召しを理解し、それを果たすときに祈りをもって熱心に働かれました。常に御父の御心を行い、御父に栄光を帰して、御自分のためには何も求めようとはされませんでした。主は人類のためにすべてを犠牲にし、十字架上で御自身の命を与えて全人類の罪を贖われました。

指導者が救い主の模範に従うとき、主は御業を行う彼らの能力を増し加えてくださるでしょう。また指導者に靈感を与えて、言うべきことや行うべきことを授けてくださるでしょう（教義と聖約100：6参照）。指導者は神の王国を築く業において、実に主と同じ業に働く僕しもべになります。聖文の研究者となって福音の教義と原則を学び、自分が仕える人々にそれらを教えるように努めるのです。

## 指導者の特質

### 信 仰

救い主は地上での務めを果たしておられるとき、信仰を行使するように弟

子たちに訓戒されました（マタイ17：14-21；ルカ8：22-25参照）。教会の指導者は、イエス・キリストが救い主であり、贖い主であられるという信仰を持たなければなりません。祈りと聖文の研究、従順、悔い改めを通して、信仰をはぐくみます。わたしたちが信仰の種を育てていくなら、それはわたしたちの中で生長し、最も貴重で甘い実を結ぶようになるでしょう（アルマ32：42参照）。

## 愛

救い主はこう言われました。「わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう。」（ヨハネ13：34-35）指導者は、主から責任を託された人々に愛を示します。人々を愛するならば、指導者は彼らに仕え、教え、彼らが救いのために働けるように助けたいという気持ちになるでしょう。

世の中には、指導者のことを僕であると考え人はほとんどいません。しかし、救い主は御自身の言葉と模範によって、指導者は自ら導く人々に仕えるべきであると教えられました。主は十二使徒に「あなたがたの間でかしらになりたいと思う者は、僕とならねばならない」（マタイ20：27）と告げられました。わたしたちは人々に仕えると

き、主に仕えているのです（マタイ25：31-40；モーサヤ2：17参照）。

## 従順

イエス・キリストは従順と天父の御心への服従との完全な模範を示されました（マタイ26：39；ヨハネ5：30参照）。指導者は、人々に模範を示すことができるように、また聖霊の導きを受けるのにふさわしくなるように、主の戒めに従って生活する必要があります。従順は主に対する愛を表すことです（ヨハネ14：15参照）。

主の戒めは聖文の中で、教会の指導者を通して、また、聖なる御霊を通して明らかにされます。指導者がこれらの戒めを守るとき、主は彼らが召しを果たせるように助けてくださるでしょう。

## 一致

救い主は人々のためにささげた偉大な祈りの中で、御自身と御父が一つであるように、主を信じる者が一つとなるように祈られました（ヨハネ17：20-23参照）。教会のあらゆる組織の中で成功するために、一致は不可欠です。神権組織と補助組織の会長は、顧問を放置して自分だけで働くべきではありません。会長会は一致してともに評議するとき、さらに多くの事柄を成し遂げることができるのです。

## 犠牲

ある金持ちの青年が救い主に、永遠

の命を得るために何をしなければならぬか尋ねました。主は「戒めを守りなさい」と答えられました。その青年は、小さいころから戒めを守ってきたと言って、「ほかに何が足りないのでしょうか」と聞きました。イエスは彼の心の中を見抜いて、「持ち物を売り払って貧しい人々に施し、わたしに従ってきなさい」と告げられました。すると青年は悲しみながら立ち去りました。たくさんのお金を持っていたからです（マタイ19：16-22参照）。

主はこの出来事の中で、指導者は主に従うためにすべてのものを進んで犠牲にしなければならないと教えておられます。金持ちの青年のように、指導者は自分の財産を犠牲にするように求められるかもしれません。あるいは、主の業を推し進めるために時間や才能、個人の仕事を犠牲にするように求められるかもしれません。指導者が主とその王国のために犠牲を払うとき、主はすべてのことにおいてその人を祝福すると約束しておられます（マタイ19：29；教義と聖約97：8-9参照）。

## 指導者の務め

### 目標の設定

指導者は、主が自分に何を行うように望んでおられるか知るために、祈りの気持ちで主からの導きを求めますが、それは指導者の召しに欠かせない要素です。御霊の導きを受けて行う目標設

定は、主から与えられた業を遂行する助けになるでしょう。

目標を設定するとき、指導者はそれを達成する方法を計画する必要があります。例えば、地方部会長が地方部内の聖餐会の出席を増やすという目標を立てるとします。その場合、支部会長に依頼して、支部のすべての会員に聖餐会への出席を決意するように勧めるという計画を立てることができるでしょう。

指導者は、会員が個人の目標を設定して達成するように励ますことができます。指導者が各自のために目標を提案することもできますが、会員は自分自身で目標を定め、それを成し遂げるために計画を立てなければなりません。

### 計画と委任

次に挙げるステップは、神権組織と補助組織の指導者が主の業を行うために集会や活動、奉仕プロジェクトを計画し、目標を設定する助けになり、会員へのフェロウシップや教会員でない人へのフレンドシップを行うときに活用できます。また、指導者がホームテイニングや扶助協会の家庭訪問を組織するとき、あるいは神権指導者が会員を支部の責任に召すときにも役立ちます。

1. 組織し、計画する。指導者は福音の目的を果たすためにすべての集会や活動、目標を計画します。これらの計画を立てるとき、指導者は自分を

補佐してくれる顧問などに、各自の考えを分かち合って組織を助けるように求めます。

2. 祈る。指導者は計画を立てて実行するときに、御霊の働きを通して与えられる導きを求めて祈ります。また、計画や実行を助ける人としてだれを召すべきか知るために、導きを求めて祈ります。
3. 良い指導者は一人ではすべてを行えないことも、行うべきでないことも知っているのも、他の人々に助けを求めます。また、経験する機会を与えることによって、人々の能力を高めるために委任します。指導者はまず、計画を説明します。それから一人一人に具体的な責任を委任し（割り当て）、その責任を果たすことに伴う義務と祝福を説明します。
4. 助け、支える。指導者は計画し、祈り、委任した後、責任を任せられた人々を支援します。彼らが知る必要のあることを教え、援助を申し出ますが、委任した責任を代わりに行ってはなりません。指導者は彼らに愛と信頼を表し、指導者のやり方でいつも行うように強要するのではなく、彼ら自身の考えや靈感を活用するように励まします。そして必要な場合にだけ、再び指示を与えるか、彼らが行っていることを変更するように求めます。
5. フォローアップする。指導者は割り当てを与えた後、定期的に進捗状況

の報告を求めます。これはふだんの会話や集会の中で、あるいは個人面接で行うことができます。報告を受けるときに、指導者は感謝の気持ちを伝え、心からの称賛と励ましを与えます。また、割り当てられた責任をどうしたらもっとよく果たせるか話し合うこともできます。

6. 評価する。割り当てられた責任が終わったら、指導者は一人一人とその成果を評価します。感謝を表し、達成したことの価値について話し合います。さらに、別の割り当てを与えることもできます。

### 議事予定案の作成

議事予定案は集会のための計画です。議事予定案には、祈る人、賛美歌、話者、発表、ビジネス、割り当てに対する報告、新しい割り当て、その他の重要な事項が含まれます。書面にした議事予定案は、指導者が最も大切な事柄について確実に話し合い、集会時間を効率よく使う助けになります。また、集会を秩序正しく進めるのにも役立ちます。

通常は集会の管理者または担当者が議事予定案を作成します。その際、集会の目的を達成するために必要なことがすべて含まれていることを確認します。議事予定案を作成する人は、それぞれの項目にどれだけ時間を使うか決めます。もしすべての項目について話し合う時間がなければ、その幾つかを

次回の集会の議事予定案に回すようにします。

## 集会の司会

集会を司会する人は、集会の導き手としての役割を果たします。集会で祈りや話、指揮、その他の割り当てを行う人の名前を発表します。また敬虔な態度で、主の御霊の導きに従って司会します。

集会の管理者は、自ら司会することもできますし、自分の指示の下に司会を行うようにほかの人に頼むこともできます。例えば、支部会長が顧問の一人に聖餐会の司会を依頼し、定員会の会長が顧問の一人に定員会集会の司会を任せることができます。補助組織にも同じ原則が当てはまります。



## 評議

主は評議の原則によって主の王国を治めておられます。支部評議会、神権役員会、神権組織や補助組織の会長会

(『支部ガイドブック』参照) のような評議会を司会する人は、次に挙げる重要な原則を実践する必要があります。

- ✦ 不確かな事柄ではなく、福音の教義と原則に焦点を当てる。
- ✦ 個々の会員と、福音の中で彼らを強める方法に焦点を当て、内密の情報が外に漏れないように常に配慮する。
- ✦ 心を開いて自由に発言するように促し、全員に話す機会を与える。指導者は話すのと同様に聞く必要がある。
- ✦ 管理する指導者の決定を支持し、その実行を助ける。
- ✦ すべての人の必要や福利に対する関心と愛をもって導く。

## 秘密の厳守

指導者は、公式の面接の中でであろうとふだんの会話の中であろうと、そこで得た内密の情報をだれにも漏らしてはなりません。面接や告白から得た情報、あるいは個人が納めた什分の一や献金の額のような情報は、完全に秘密を守らなければなりません。指導者は、本人の許可がないかぎり、顧問や伴侶を含めたほかのだれとも、個人的な事柄について話し合うべきではありません。内密事項について完全に秘密を守ることに不注意な指導者は、自分が仕える人々の証と信仰を弱め、彼らからの信用や信頼を失うことになります。



# 教会の資料と家族歴史に関する情報の入手

---

地元の指導者や会員は、聖典やテキスト、教会機関誌、ガーマント、神殿衣を含め、教会の様々な資料を地元の配送センターやサービスセンターから、またはソルトレークの配送センターから、あるいは教会の公式インターネットサイト、[www.lds.org](http://www.lds.org)から入手する

ことができます。

家族歴史活動に関する情報は、教会家族歴史のインターネットサイト、[www.familysearch.org](http://www.familysearch.org) から得ることができます。

